## 御朱印について

御朱印の由来は参詣者がお経・願文を書写して寺社に奉納した「証し」として寺社の名号を墨書し御印を戴いたことが起源とされております。それ故、お札と同様に尊く大切にされて参りました。「奉拝」とはおまいり戴いた証しということです。御朱印とは参拝者の祈念、願いが神様に届けられた事の証しなのです。神様と皆様をむすぶ意義ある証しとして大切にお持ちください。




住吉神社
大祭　八月二十一・二十二・二十三日




黄龍神社
大祭　五月三日・十月十六日

## 境内社の御朱印

各五〇〇円




白山神社




蛇松神社
大祭　五月十八日




松尾神社
大祭　四月十六日・十月十六日

## 期間限定の御朱印

各五〇〇円

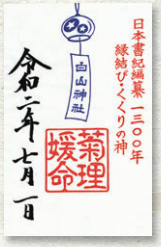
### 春まつり・夏まつり 結びの提灯まいり 限定




四月十二日(日)・十八日(土)
十七時三十分～二十時
七月十二日(日)・十八日(土)
十八時～二十時三十分

※七月は夏の絵柄になります。

### 七夕まつり限定




六月三十日(火)～
七月十九日(日)

### 東京五輪 聖火リレー記念

2020枚限定




六月六日(土)九時～

各日100枚限定




六月一日(月)～三十日(火)
各日九時～

※「春まつり・夏まつり・結びの提灯まいり限定」「東京五輪 聖火リレー記念」は、すべて紙のみでのお渡しとなります。直接朱印帳にお書きできません。

# 白山神社

## 日本書紀編纂一三〇〇年
## 穢れを祓う神・厄を祓う神

### 悪い縁を切って良縁を結ぶ

死んで黄泉の国に赴いていた伊弉冉尊を連れ戻そうとして、夫の伊弉諾尊がやってきます。この両神の言い争いが続き、そこに突如としてあらわれたのが菊理媛神でありました。ただ、「菊理媛神、亦白す事有り」とのみ記されております。この後「伊弉諾尊聞しめして善めたまふ」とあり、橘小戸で伊弉諾尊は禊をし心身を清めるのでした。

菊理媛神は、伊弉諾尊に対して禊をするように進言したのではないだろうかと推測できます。ここから、けがれをはらう神・厄をはらう神とされ、災難や不幸をはらってくれる御力に富み、おはらいに特にご利益があるとされています。

「くくりひめ」の「くく」とは、糸をくくるように人々の願いを聞き入れてくださる神さまであり、男女の仲を、糸をくくり整えるように取り持つ「縁結び」の神さまとして全国的にも有名であります。

**期間限定の御朱印**

**日本書紀編纂1300年記念**

**各500円**




四月・五月




六月・七月・八月

## 結びの絵馬




縁結びの絵馬があなたの思いを白山さまに届け、縁を結びます。絵馬の紐は理想の人をイメージした色を選んで結んでください。

**1,000円**

## 叶守




いつでもどこでもあなたの願う誠の声を聞き入れてくださる「聞き入れ」の神様のご利益を戴きましょう。

**各800円**

## 姫まもり




女性の守護神である姫神様です。縁結び・夫婦円満・家内安全など日々の生活の中でよりよい縁を結んでくれます。

**各1,000円**